（工学研究科）
公益財団法人帝人奨学会
2019 年度帝人久村奨学生募集

H31.1.18

1　応募資格・・・以下のすべてに該当すること

① 2018 年 10 月に入学、または 2019 年 4 月に博士前期課程(医学・薬学系、バイオ学系、理工学系、工学系、情報科学系等を専攻)に進学することが決定している、または見込まれている者。
② 私費外国人留学生（在留資格「留学」）である者。
③ 将来研究者を目指す者。

2　援助の金額、援助の期間

月額：　5 万円(給付)
期間：　2019 年 4 月から正規の博士前期課程修了まで

3　推薦人員

工学研究科から1名推薦、その後大学全体の選考を経て、大学から1名が推薦される。

4　提出書類

① 志願者調書（所定用紙）：写真貼付、本人自筆により作成のこと（英語可）
② 学業成績証明書：現課程および学士課程のもの
　※現課程のものが提出できない場合は学士課程のもののみで可。
　※別紙の成績評価係数方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆で記入すること
③ 個人情報の取り扱いに関する同意書　（所定用紙）
④ 在学証明書　（2018 年 10 月入学者）
　※　2019 年 4 月入学予定者は、入学許可書等の入学の内定を証明できる書類
⑤ 健康診断書　（原本、過去 12 ヶ月以内に受診したもの）（日本語）
　※　学内で受けた場合、必ず「健康診断証明書」を発行すること。
　※　学内で受けたものが発行できない場合は一般病院で受診すること。
⑥ 現在の研究活動の概要
　※　A4 用紙 2～3 枚に簡潔にまとめたもの 1 部（英語可）
⑦ 在留カード（両面）の写し
⑧ 経済状況調書　（2019 年 2 月現在で作成のこと）
⑨ 私費外国人留学生身上書（所定用紙）
⑩ 家計状況申告書（所定用紙）
⑪ 指導教員による成績評価(私外国人留学生各種奨学金申請用)（所定用紙・厳封）
　※　9）～11）は、2018 年 10 月以降に他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。
⑫ 推薦調書　（所定用紙）
　※　指導教員により作成のこと。
　※　工学研究科から推薦が決まった後に提出する。

①、③、⑫の所定用紙は、下記財団 HP からもダウンロード可能
（https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/）

6　申請書類提出先：工学部・工学研究科教務課国際交流係

7　締切日：平成 31 年 2 月 14 日（木）

※他奨学金に応募している者（直接応募含む）は推薦対象外です。

TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

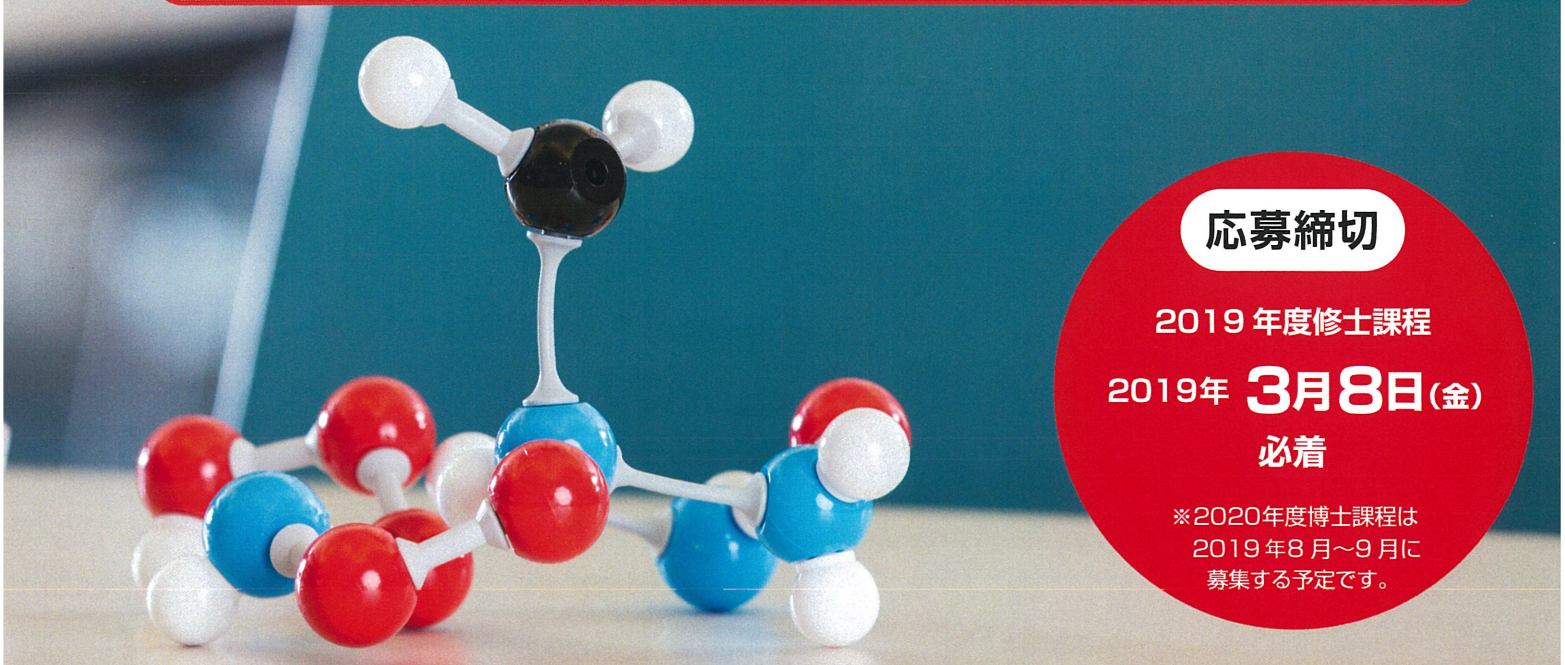
帝人久村 奨学生募集

Teijin Kumura Scholarship

熱意をもって研究に取り組む大学院生を応援します！

本奨学金の特色

- **修士は8万円／月、博士は10万円／月**を貸与します（**無利子**）。
- 外国人留学生の場合は、修士5万円／月、博士6万円／月を給付します。
- 修士課程の帝人久村奨学生は博士課程の選考が一部免除となります。（給付は対象外）
- 卒業後の進路によって、**返還免除制度**があります。
- 本奨学金は経済的困窮度よりも、**成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視**します。
- 他奨学金との併給も可能です。
- 在学中に海外へ留学する場合も貸与・給付を継続します。



応募締切

2019年度修士課程

2019年 **3月8日（金）** 必着

※2020年度博士課程は
2019年8月～9月に
募集する予定です。

対象者

- **医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系**等に在籍している方
- **2018年秋（9月、10月）**または
  2019年4月に**修士課程に進学**することが決定している、または見込まれている方

募集要項等詳細は、各大学の奨学金窓口もしくは公益財団法人帝人奨学会までお気軽にお問い合わせ下さい。

若き科学技術者の育成を行う
公益財団法人 帝人奨学会

http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/
03-3506-4424　kumura@teijin.co.jp
帝人 奨学会
※フリーメールアドレスを使用される場合は、HPのお問い合わせページからご連絡ください。

公益財団法人帝人奨学会　帝人久村奨学生志願者調書

受験専門科目　※いずれかの番号に丸を付けて下さい。	記入日	年　月　日
①医学・薬学・バイオ学系（医学、薬学、生物、環境　等）　③工学系（電気・電子工学、機械、建築　等） ②理学系（化学、物理、数学、材料　等）　④情報学系（情報システム、電子システム　等）		

「記入上の注意事項」

1. 記載事項に事実と相違する事がある場合は、奨学生としての採用を取り消すことがあります。
2. 年号は、西暦で記入して下さい。
3. Ｅメールアドレスは明確にご記入下さい。（ハイフン、アンダーバー、数字の０（ゼロ）、アルファベットのO（オー）等）

ﾌﾘｶﾞﾅ		写真貼付 縦 4cm 横 3cm
氏　名		
生年月日	年　月　日(満　歳)	
ﾌﾘｶﾞﾅ		
現住所	〒(　)　都道府県	
	自宅･寮･下宿　TEL　携帯	
	e-mail：※必須　※フリーメールアドレス以外	
研究室住所	〒(　) TEL	

学歴	高校･大学･大学院　学部･学科･専攻	入学　卒業　修了予定月日
	高等学校	年　４月入学～　年　３月卒業
		年　月　～　年　月
		年　月　～　年　月
		年　月　～　年　月　修了予定

進学予定大学院及び指導教授	大学大学院　研究科　専攻 指導教授:
研究テーマ及び指導教授	ﾃｰﾏ: (学部-指導教官:　教授　准教授)
	ﾃｰﾏ: (修士-指導教官:　教授　准教授)

自己評価	語学	読解力	作文力	会話力	自分の性格行動の特徴
	英　語	A B C	A B C	A B C	
	語	A B C	A B C	A B C	
	TOEIC	点(　年　月)			

クラブ･サークル歴

氏　　名		記入年月日	年　　月　　日

現在の研究活動の概要：（２次面接用にＡ４版サイズで２～３枚のシート（文字サイズは１１ポイント以上、カラー不可）に研究活動をまとめて１部添付して下さい）

論文投稿件数		学会発表件数		特許申請件数	
国内－　　件	海外－　　件	国内－　　件	海外－　　件	国内－　　件	海外－　　件

研究技術者としての将来の抱負及び修士又は博士終了後の人生設計

帝人久村奨学金を必要とする理由

奨学金受給・申請状況	団体名	奨学金額（月額）	併給可否
現在受給している奨学金 （帝人久村奨学金を含む）			はい　・　いいえ
今後受給が確定している奨学金			はい　・　いいえ
受給申請中もしくは、 申請予定の奨学金			はい　・　いいえ

日本学術振興会の特別研究員（DC1）に申請していますか？
※博士課程奨学金に応募する方のみご回答ください。　　はい　・　いいえ

公益財団法人帝人奨学会　理事長殿

公益財団法人帝人奨学会　帝人久村奨学生推薦調書(修士課程)

年　　月　　日記入

志願者氏名	
大学名	大学　　学部 学科
大学院名 (進学予定先)	大学大学院　　研究科 専攻
現在研究している テーマ	

研究技術者としての将来への期待：（将来の進路）

帝人久村奨学生として推薦する理由：

総合 評価	以上を総合評価して 最優秀　　優秀　　優　　であると評価する。

以上の通り帝人久村奨学生として相応しい人物として認め推薦いたします。

年　　月　　日

大学　　学部

（指導教授氏名）　　印

個人情報の取り扱いについて

公益財団法人帝人奨学会
事務局長

この書面は、このたびのご応募に伴い取得することとなる応募者の個人情報の保護と取り扱いに付きまして、個人情報保護法の規定に従いご説明するものです。

1. 個人情報に対する基本姿勢

帝人奨学会は、応募者の個人情報の保護および適切な取り扱いが社会的責務であると考えております。個人情報保護法の趣旨を尊重し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護・管理規定」を定め実行してまいります。

2. 個人情報の定義

個人情報とは、以下のような特定の個人を識別できるものをいいます。

①氏名、住所、生年月日、性別、学歴、電話番号、電子メールアドレス、振込口座番号および名義、採点結果

②その情報のみでは特定の個人を識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、この照合により特定の個人を識別できることとなる情報

③上記の情報のうち1つまたは複数を組み合わせることで応募者を特定できる情報

3. 個人情報の取得、利用および第三者への提供

①当奨学会は、奨学生を選考するために必要、かつ選考目的の達成に必要な範囲内で、個人情報を取得します。

②応募者の個人情報は、選考目的の達成に必要な範囲内で、当奨学会が利用できるものとします。

4. 応募者の個人情報の利用目的について

①当奨学会の選考資料として、利用するため

②選考の結果、奨学生に採用された後、人事情報として管理するため

③奨学会の振込口座情報を管理するため

5. 個人情報の提出先の範囲

応募者の個人情報は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる第三者にも提供しません。

①応募者の同意を得た場合

②国の機関若しくは地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。

6. 応募者の個人情報の安全管理措置

①当奨学会が保有するデータベースシステムについては、「セキュリティ管理規定」に従い必要なセキュリティ対策を講じます。

②当奨学会が、選考目的で利用する場合、関係者には適切な取り扱いおよび保護を行うよう指示・監督をします。

7. 個人情報の削除・消去

応募者を不採用とした場合、確認後6ヶ月以内に応募者の事前・事後の承諾を得ることなく、速やかに応募者の個人情報を安全かつ完全に削除・焼却いたします。

／以上

公益財団法人帝人奨学会　理事長　殿

同　意　書

私は、個人情報保護法および貴奨学会の定める個人情報保護方針に基づき、選考および採用後、人事情報管理の目的のために、私の個人情報を保有し、使用することに同意いたします。

年　　月　　日

署　　名　　印

第67回（2019年度）
帝人久村奨学生　募集要項［修士課程］

2019

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

本奨学金の特色

1）修士課程8万円／月を貸与（**他奨学金との併給が可能**）
　外国人留学生の場合は、5万円／月を給付。
2）卒業後、帝人奨学会指定の大学や研究機関等で学術研究活動に所定期間従事した場合には、**返還が免除**されます。
3）修士課程の帝人久村奨学生が引き続き博士課程でも帝人久村奨学金の貸与を希望する場合は、選考過程の一部が免除となります。（給付は対象外）
4）本奨学金は、経済的困窮度よりも、**成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視**します。
5）本奨学金を受給したことによる帝人グループ各社への**入社等その他の付帯義務はありません**。
6）在学中に海外へ留学する場合は、正規の修業期間を上限として貸与・給付を継続します。

公益財団法人帝人奨学会

募集要項

1. 応募資格

医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等に在籍している学生で次の条件に該当し、学部長又は学科主任教授の推薦を受け、かつ学校推薦を受けた者。

- 2018年秋（9月、10月）または2019年4月に国内大学の修士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生（外国人留学生も可）

＊現在在学している大学から、他の大学院へ進学する場合は原則として現在の大学から応募してください。
＊外国人留学生の場合は、留学予定先の国内大学から応募してください。

2. 採用人員

10名程度（1名程度を外国人留学生（給付）とする）

3. 採用基準

本奨学金では、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取組み内容を重視して選考します。

4. 選考方法

（1）第1次選考
書類選考

（2）第2次選考
第1次選考合格者に対して、次の系列毎の専門面接により選考します。

- 医学・薬学・バイオ学系（医学、薬学、生物、環境等）
- 理学系（化学、物理、数学、材料等）
- 工学系（電気・電子工学、機械、建築等）
- 情報学系（情報システム、電子システム等）

（3）最終選考
第2次選考合格者に対して、当会選考委員による面接を実施し、奨学生を決定します。

5. 選考スケジュール

（1）修士課程進学予定者（学部生）

選考方法	日程	場所
2次面接	4月中旬～下旬に実施	帝人（株）東京本社内
最終面接	5月27日（月）に実施	帝人（株）東京本社内

※選考日時・場所等の詳細については、受験者宛に別途ご案内します。
※面接時の交通費は国内移動分のみ全額支給します。

（2）2020年度博士課程進学予定者（修士生）については2019年8～9月頃に募集致します。

6. 提出書類（応募書類は当会HPからダウンロード可）

（1）公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生志願者調書（所定用紙、写真貼付）：志願者本人が作成するもの。
（2）公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生推薦調書（所定用紙）：指導教授に作成いただくもの。
（3）学業成績証明書（直近のもの）
（4）健康診断書（過去12ヶ月以内のもの）
（5）現在の研究概要をA4判2～3枚に簡潔にまとめたもの1部
（6）個人情報の取扱いに関する同意書（所定用紙）：志願者本人が自署したもの。
（7）在留資格認定証明書（在留カード等）※外国人留学生のみ

7. 提出締切日

2019年3月8日（金）必着

8. 最終合否の決定

2019年6月下旬までに合否結果を文書で連絡します。

9. 奨学金の取扱い概要

（1）貸与または給付期間
2019年4月から正規の修士課程修了月までとします。
※在学中に海外留学する場合は、正規の修士課程修業期間を上限として貸与・給付を継続します。

（2）奨学金貸与額または給付額
①貸与額
2019年度募集　80,000円／月（修士課程）
②給付額（外国人留学生）
2019年度募集　50,000円／月（修士課程）
※本誌第1項応募資格で規定する資格保有者で且つ日本国への外国人留学生は「給付」とします。尚、当会が定める外国人留学生とは、出入国管理及び難民法における「留学」に該当する者を指します。

（3）貸与または給付開始月
2019年4月から開始
※2018年秋（9月、10月）入学者も同様です。

（4）貸与または給付方法
奨学生指定の金融機関の個人口座に偶数月初旬に貸与額の2ヶ月分を振込みます。

（5）貸与金の返還

ア．当会指定の大学研究機関等（独立行政法人日本学生支援機構が指定した機関に準じます）で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還を免除します。※所定期間：貸与期間の2倍の期間

イ．上記ア．以外の場合には、貸与期間終了6ヶ月後から奨学金貸与月数の5倍の期間以内に半年賦で返還いただきます。但し、貸与金は無利子とします。

（6）その他
ア．他の奨学金との併給が可能です。
イ．帝人グループへの入社等その他の付帯義務はありません。
ウ．HPに掲載されている先輩帝人奨学生からのメッセージやFAQもぜひご覧いただき、応募の参考としてください。

公益財団法人帝人奨学会概要

帝人㈱創業者
久村　清太氏
（1880－1951）

公益財団法人帝人奨学会は、1953年6月の帝人株式会社創立35周年を記念した「帝人奨学会久村奨学生制度」を端緒として発足しました。翌1954年、この制度の一層の発展を期すため、奨学金事業を主事業として、財団法人帝人奨学会を設立しました。その後2011年に内閣総理大臣の認可を得て「公益財団法人帝人奨学会」に改組し今日に至っております。

帝人奨学会の目的は、人造絹糸（レーヨン）の製造技術を独自に確立し、「日本化繊工業の父」と呼ばれた久村清太氏の功績を讃えて、独創的な研究開発の精神を継承発展させるとともに、国家・社会の発展と文化創造に貢献する「若き科学技術者を育成する」ことにあります。

創立以来この制度を貫く本質的な精神は変わっておりません。本制度は一企業のためではなく、国家社会の発展を担う人材育成を主眼にしております。このため、卒業後、大学や公的な研究機関で研究に従事する場合は、奨学金の返還を免除しています。また、将来の科学技術を担う研究者を育成するために、経済的な条件等を問わず学業優秀であれば奨学金の貸与を認めております。更に、本制度は発足以来、帝人株式会社への入社等の義務的拘束は一切設けておらず、公益財団法人の本質を堅持しております。

これまでに、ノーベル化学賞受賞者など1,600名以上の方が大学研究機関や民間企業で活躍されています。

1. 沿革

1953年（昭和28年）6月
帝人株式会社創立35周年事業として、育英制度を設立。
1954年（昭和29年）7月
文部大臣の許可を得て、財団法人帝人奨学会が発足。
2011年（平成23年）10月
内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人へ移行

2. 目的

科学技術者としての自己の使命を自覚し、国家・社会の発展と文化創造の担い手となる人材の育成を目的とする。

3. 帝人久村奨学金及び帝人久村奨学生命名の由来

日本で初めて化学繊維（レーヨン）の製造技術を確立し、その後の化繊工業の発展の礎を築いた、久村清太氏の功績を讃え、その偉業を永く後世に伝えるため、当会の奨学金を「久村奨学金」及び奨学生を「久村奨学生」と命名し、50周年を機に「帝人久村奨学生」、「帝人久村奨学金」と改めました。

4. 事業内容

技術系大学院生に対する帝人久村奨学金の貸与・給付。

5. 奨学生の実績

累計奨学生数：第1回（1953年）より第66回（2018年）までの帝人久村奨学生1,633名

6. 役員　<50音順>

理事長
鈴木　　純（帝人株式会社）

理事
太田　　茂（広島大学名誉教授）
大田　治彦（九州大学名誉教授）
　　（選考委員兼務）
加藤　直樹（京都大学名誉教授）
　　（選考委員兼務）

監事
髙原　　淳（九州大学先導物質化学研究所　教授）
麥谷　　純（帝人株式会社）

評議員
岩澤　伸治（東京工業大学大学院教授）
梅谷　博之（帝人株式会社）
澤本　光男（京都大学名誉教授）
庭野　道夫（東北大学名誉教授）

選考委員
宇野　　洋（帝人株式会社）
片岡　一則（東京大学名誉教授）
小林　資正（大阪大学名誉教授）
早川　泰宏（帝人株式会社）

（2019年1月1日現在）

『若者よ海外へ出よ！』

～ノーベル化学賞 受賞(2010年)米パデュー大学 根岸 英一 特別教授からのメッセージ～

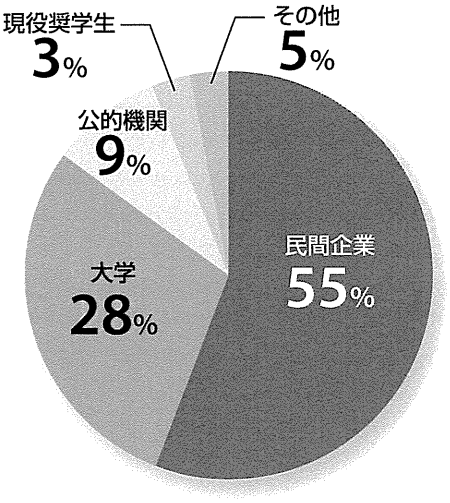
1958年に私が帝人に入社したころ、当時の大屋晋三社長は「若者よ海外へ出ろ。10年に1ヶ国語ずつ学べば、30年で3ヶ国語が話せるようになる。そうすれば君たちも世界で通用するようになる」と仰っていました。私がこのような道を歩むことができた原点は、この大屋社長の言葉にあります。

私の専門である化学のコンペティション（競争）の場は世界であり、いまや我々のプレーグラウンドは世界です。また学ぶための師も世界単位で探し、世界の競争の中でトップになることを目指す時代です。そういう意味で、皆さんのような若者には、積極的に海外へ出て頂きたいと思います。

そして自らの「夢」を見つけたら真理を突き詰めるまで、とことんチャレンジしてください。今後の皆さんの大いなる活躍に期待しています。

米パデュー大学
根岸　英一特別教授
（帝人グループ名誉フェロー）
帝人久村奨学生第5回生（1957年）

帝人久村奨学生データ



帝人久村奨学生総数 **1,633**名

現役帝人久村奨学生 **40**名

（2018年8月1日時点）

帝人グループについて

帝人グループは、2018年に創立100周年を迎えました。1918年に日本初のレーヨンメーカーとして発足し、今日に至るまで絶え間なく企業変革を進め、現在は、「マテリアル」「ヘルスケア」「IT」という3つの異なる事業領域を併せ持つユニークな企業体となっています。そして、次の100年へと踏み出した今、帝人グループはグループの礎である企業理念のもと、ブランドステートメント“Human Chemistry, Human Solutions”に込めたステークホルダーへの約束を実践し、「未来の社会を支える会社」になることを目指しています。

未来の社会は、今の延長線上ではなく、大きく、速く変化していきます。帝人グループはそれを追いかけるのではなく、先取りして新たな価値を創出し、さらには社会に進化をもたらす変革者でありたい。そのために既存事業において成長を図るとともに、それらの事業が持つ強みを活かしながら、異分野への進出やビジネスモデルの変革を進めます。それにより、将来はマテリアル事業とヘルスケア事業を2つの大きな柱とし、ICT技術基盤がそれらを支える企業体へと変容して、新しい高収益事業を核とした持続的な成長の実現を目指します。そして、物質を対象とした従来の化学技術だけでなく、人やさまざまな事象も対象として相互に化学反応させることで、新たな価値や人と人との絆を創出する、いわば「ケミストリー」の可能性を追求していきます。

帝人グループには、100年前の創立当初から脈々と受け継いできたチャレンジングなDNAが備わっています。帝人グループは、これからもたゆまぬ変革と挑戦を続け、社員と共に成長しながら、新たな価値の創造を積み重ねることで、人々の「Quality of Life」の向上に貢献していきます。

帝人株式会社概要

創　　立……1918年6月
代 表 者……代表取締役社長執行役員　鈴木　純
資 本 金……718億円（2018年3月）
売 上 高……連結：8,350億円（2018年3月）
営 業 利 益……連結：698億円（2018年3月）
従 業 員 数……連結：19,711名（2018年3月）
主要事業内容……マテリアル事業、ヘルスケア事業、IT事業

URL: http://www.teijin.co.jp/

HPのQRコードはこちら

公益財団法人帝人奨学会

応募書類送付先及びお問い合わせ先
公益財団法人帝人奨学会（帝人株式会社 人事部内）
〒100-8585　東京都千代田区霞が関3-2-1
TEL:03-3506-4424　E-mail: kumura@teijin.co.jp
http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/index.html
※フリーメールアドレスを使用されている場合は、HPのお問い合わせページからご連絡ください。

67th

Teijin Kumura Scholar Application Guide (Master's Course)

2019

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION

KUMURA

Feature of this scholarship

a) Japanese students: ¥80,000/month(Master's Course)
you can receive other Scholarship.

b) Non-Japanese students: ¥50,000/month(Master's Course)
No need Scholarship repayments for foreign students.

c) Teijin Kumura Scholarship Students in a master's course who wish to continue to receive Teijin Kumura Scholarship to be lent in a doctor's course, as well, will be exempted from a part of the screening process.
(No exemption for granting.)

d) We select a Scholarship student **with grade and research level.**

e) **Not obligated to joinTeijin Limited.**

f) If students study abroad while being enrolled at Japanese graduate schools, the Scholarship will be lent or granted up to the regular period.

Teijin Scholarship Foundation

Application Guide

1. Qualifi cation Requirements

(1) The applicant must be a student in a medical /pharmaceutical / bioscience,science,engineering or information science related course at a domestic university.

(2) Fulfill the following conditions, receive the recommendation of a faculty head or senior faculty professor and the recommen-dation of a school.

(3) Students who have decided to study in a Master's course from September/October 2018 or April 2019. (Foreign students may also apply.)

* When you will transfer to another university,please apply from the domestic university that you currently belong to.

2. Number of Scholarship Recipients

Master's course: 10

* Among these, about one person is a foreign student.

3. Selection Criteria

We select a scholarship student with grade and research level.

4. Selection Method

(1) Preliminary selection

Screening of application materials

(2) Secondary selection

Applicants who pass the preliminary selection will be screened in specialized interview.

- Medical / pharmaceutical / Bioscience (Medical, Pharma ceutical, biology, environmental science, etc)
- Science (chemistry, physics, mathematics, material science, etc)
- Engineering (electrical/ electronic engineering, machine engineering, architecture, etc)
- Information science (information systems, electronic systems, etc)

(3) Final selection

The foundation's selection committee will interview applicants who pass the secondary selection to determine the scholarship recipients.

5. Selection Schedule

Selection method	Schedule	Location
Secondary selection	Mid to late April	Teijin Limited (Tokyo HQ)
Final selection	May 27th	Teijin Limited (Tokyo HQ)

*Details of selection dates and locations, etc, will be announced separately to applicants.
*Travel expenses for interviews will be fully reimbursed only for domestic transportation in Japan.

* Students who are planning to study in a Doctor's course will be received in August-September 2019.

6. Documents Submitted (Application form can be download from Our Website)

(1) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Applicant's Statement (Use the designated form; attach a photograph): Submit a form signed by the applicant in person

(2) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Recommendation Statement (Use the designated form): Submit a form created by the supervising professor

(3) Evidence of academic achievements (Latest copy)

(4) 1 copy of a concise summary of 2-3 A4 pages of your current research brief

(5) Written consent for the handling of personal information (Use the designated form): Submit a form signed by the applicant in person

(6) Health certifi cate (The past less than 12 months)

(7) Certifi cate of Eligibility (only foreign students)

7. Deadline for Application

Application submission should reach by March 8th, 2019 (Fri).

8. Final Decision

The written notice of results for the Final selection process will be sent by End of June 2019.

9. Overview of Scholarship Handling

(1) Loan period

The loan period is the regular period from April 2019 to the completion of the Master's course.

* If students study abroad while being enrolled at Japanese graduate schools, the Scholarship will be lent or granted up to the regular period of Master's course.

(2) Value of scholarship and scholarship loan

① Value of scholarship (foreign students)

The 2019 fiscal year ¥50,000/month

(No need Scholarship repayments for foreign students)

② Value of scholarship loan

The 2019 fiscal year ¥80,000/month

(3) Commencement of loan

From April 2019

* The 2018 fall-admissions person is also the same.

(4) Loan method

The scholarship loan for 2-months is transferred into the scholarship recipient's personal account at a financial institution at the start of each even-numbered month.

(5) Loan repayments

a) Scholarship recipients are excused from repayment if they engage in scientific research activities for a designated period at a university research organization, where designated by the foundation (corresponding to the organizations designated by Japan Student Services Organization).

b) In cases other than those described in a) above, the loan is to be repaid in half-yearly installments in a period less than 5 times the number of months of the scholarship loan period, it starting from 6 months after the completion of the loan period. However,the loan is interest free.

(6) Other

a) We accept that you receive other scholarship.

b) Not obligated to join Teijin Limited.

Overview of the Teijin Scholarship Foundation

Teijin Ltd. Founder.
Seita Kumura
(1880-1951)

The Teijin Kumura Scholarship system was started to commemorate the 35th anniversary of Teijin Limited's founding in 1953 and to honor the achievements of Seita Kumura, who established rayon manufacturing technology in its own right and is known as the "father of the Japanese rayon industry" The purpose of this Scholarship system is to cultivate young engineers and scientists who would succeed to and develop Mr.Kumura's spirit of creative R&D and contribute to the development of our nation and society and the creation of culture. In July 1954, the company established the foundation "the Teijin Scholarship Foundation" for the scholarship system in order for the further development of the system. With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister in October 2011.
The essential spirit that has permeated the system since its establishment has not changed. The system is not run for the sake of one company and takes as its central aim the cultivation of the human resources that will be responsible for the development of national society.
Because of this aim, recipients of scholarship loans are excused from repayment if they are involved in research at a university or public laboratory after graduation. In addition, scholarship loans are recognized if an applicant has done well at school, irrespective of economic conditions, etc., in order to cultivate the researchers who will be responsible for the science and technology of the future.
Furthermore, since its founding, this system has never set mandatory restraints and has firmly maintained the essential qualities of the foundation. Until this point, about 1,600 people have been active in university research organizations andprivate companies.

1. History

June 1953
Teijin Limited established an educational scholarship system as a project to commemorate the 35th anniversary of the establishment of the company.
July 1954
The Education Minister permitted Teijin Limited to establish the Teijin Scholarship Foundation. The foundation continues to the present day.
October 2011
With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister.

2. Aim

The foundation aims to cultivate human resources who will become aware of their mission as scientists and engineers and be responsible for the development of our nation and society and the creation of culture.

3. The Origins of the Names "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholar"

The scholarship awarded by the foundation was named the "Kumura Scholarship" and the recipients of the scholarship "Kumura Scholars" in order to honor the achievements of Seita Kumura, who was the first person in Japan to establish rayon manufacturing technology and subsequently built the foundations for the development of the rayon industry, and to communicate those achievements eternally to later generations. To mark the 50th anniversary of this scholarship system, they have been renamed the "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholars" respectively.

4. Project Details

Teijin Kumura Scholarship loans are awarded to graduate school students in technology-related disciplines.

5. The total number of scholarship recipients

1,633 Teijin Kumura Scholars from the first year of the program (1953) to the 66th (2018).

6. Executive <Japanese syllabary order>

President
Jun Suzuki (Teijin Limited)

Directors
Shigeru Ohta (Honorary Professor, Hiroshima University)
Haruhiko Ohta (Honorary Professor, Kyushu University)
*Directors and Selection Committee
Naoki Katoh (Honorary Professor, Kyoto University)
*Directors and Selection Committee

Auditors
Atsushi Takahara (Professor, Institute for Materials Chemistryand Engineering, Kyushu University)
Atsushi Mugitani (Teijin Limited)

Councilors
Nobuharu Iwasawa (Professor, Graduate School of Tokyo Institute of Technology)
Hiroyuki Umetani (Teijin Limited)
Mitsuo Sawamoto (Honorary Professor, Kyoto University)
Michio Niwano (Honorary Professor, Tohoku University)

Selection Committee
Hiroshi Uno (Teijin Limited)
Kazunori Kataoka (Honorary Professor, Tokyo University)
Motomasa Kobayashi (Honorary Professor, Osaka University)
Yasuhiro Hayakawa (Teijin Limited)

(As of January 2019)

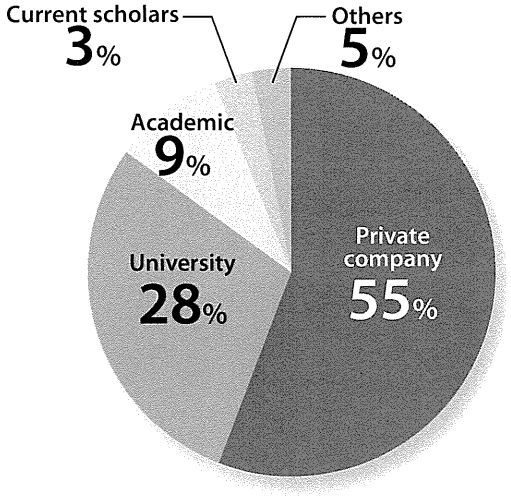
"Young people go overseas!"

~ Message from a Nobel Prize Laureate in Chemistry (2010) Dr.Ei-ichi Negishi ~

When I joined Teijin in 1958, Shinzo Oya the president at that time told, "Young people must go overseas. You will be able to speak three languages in 30 years, if you learn one language in 10 years. Then you will become world-class talent. "The starting point that I was able to walk on such a way is in the word of President Oya.
In the field of chemistry, the competition is worldwide, and our playground has extended across the world. Now, you have to look for the professor from the world and aim for the top in the worldwide competition. For the young people like you, I suggest you to go overseas aggressively.
When you find your own "Dream",please challenge it thoroughly until the truth is investigated. I look forward to your great success in the future.

Purdue University
Distinguished Professor
Mr. Ei-ichi Negishi
(Teijin Group Distinguished Fellow)
5th year Teijin kumura scholarship (1957)

TeijinKumura Scholar Data



Total number of Teijin kumura Scholars **1,633**

Current Teijin kumura Scholars **40**

(As of August 2018)

About Teijin Group

The Teijin Group celebrated its 100th anniversary in 2018. Since its establishment in 1918 as Japan's first rayon manufacturer, the Teijin Group has ceaselessly transformed itself to become a unique enterprise that combines three different business domains of materials, healthcare and IT. We now approach the next century in our history guided by our underlying corporate philosophy and while keeping our promise to stakeholders expressed as our brand statement "Human Chemistry, Human Solutions" we are aiming to be a company that supports the society of the future.

Future society will not simply be an extension of the present, but will bring rapid and significant change. We aim to become an innovator that anticipates this change instead of pursuing it, creating new value that will encourage the evolution of society. To accomplish this, we will advance into different fields and change our business model as we expand and leverage our competitive edge and key capabilities in our existing business. That will enable us to transform into a business portfolio based on the two pillars of the materials business field and healthcare business field supported by a base of ICT technology, and we will aim for sustainable growth centered around highly profitable new business. In addition to the chemistry between substances, we will maximize the potential of human chemistry by using the interactions between people, products and services to create new value and bring people together.

A spirit of venture has been strongly rooted in the DNA of the Teijin Group ever since our founding 100 years ago. We will continue to pursue ceaseless evolution and ambition, and strive to enhance the quality of life everywhere by steadily creating new value as we empower our people.

Overview of Teijin Limited

Established ····· June 1918
Representative ····· Jun Suzuki, President and CEO
Capital ····· 71.8 billion yen (March 2018)
Sales ····· Consolidated: 835.0 billion yen (March 2018)
Operating profit ····· Consolidated: 69.8 billion yen (March 2018)
Number of employees ····· Consolidated: 19,711 (March 2018)
Description of main business ····· Materials business, Healthcare business, IT

URL: http://www.teijin.co.jp/

HP QR Code

Teijin Scholarship Foundation

Direct scholarship application documents and inquiries to:
Teijin Scholarship Foundation
(Human Resources Department, Teijin Limited)
2-1, Kasumigaseki 3-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8585
Tel: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp
http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/index.html

*When using free email addresses, contact us via the inquiry page on our website.

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成　績　評　価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント３の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント２の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント１の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント０の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。(係数値算出から除外)

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

１　申請の前に

・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく､採用後の義務なども確認してください｡(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)

・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）

・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

２　申請書類について

・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。

・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）

・なるべく修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。

・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。

・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。

・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の５～８割（文字数指定がある場合は７～８割）は記入するようにしてください。

・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も､「なし（数字なら０）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

３　その他

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。

・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。

・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

Tips on Applying for Scholarships

Education and Student Support Department
Student Exchange Division
International Education Section
2016.02.03

1. Before applying

-Read the application guidelines carefully to determine whether or not you meet the requirements. Be sure to take note of any obligations for scholarship recipients, not just the application requirements and details of the award. (E.g. mandatory attendance at recognition ceremonies and exchange events, submission of periodic assignments to the scholarship organization, etc.)

-If you have applied to another scholarship organization by university recommendation, you cannot apply for a different scholarship until you receive the results of your first application. (Except in cases where both scholarships permit receipt of multiple scholarships at the same time.)

-Screening methods vary depending on the organization. If there is an interview, note the travel expenses, location, date, and time, and be sure to attend.

2. Application documents

-Do not reuse documents from previous applications, even if you are applying to extend a current scholarship.

-Do not use erasable pen (e.g. Frixion); always fill out application forms with a black ballpoint pen. (Application documents written in erasable pen cannot be submitted to the scholarship organization.)

-If you make a mistake, rewriting the entire form is preferable to using corrective tape/fluid or crossing out the mistake.

-Do not abbreviate your undergraduate/graduate school's name; enter the full name.

-Be sure to read and follow notices and instructions on filling out the forms.

-As a matter of courtesy, fill in at least 50-80% of the space provided for short-answer/essay questions (if there is a word limit, use at least 70-80% of that limit).

-After you have finished, double check your application to make sure that no items are blank. In particular, enter "None" (or "0" for amounts) for items not applicable to you.

*If outputting data from Excel, check to make sure all characters fit within the provided spaces.

3. Other

-If you have any questions about the application requirements or how to fill out the forms, please inquire with your academic advisor or the staff in charge of scholarships in your department.

-Recipients of the President Fellowship or other scholarships that pay tuition may not be able to apply for a tuition exemption for the duration of that scholarship. If this applies to you, please be sure to check with the staff in charge of scholarships in your department.

-Before submitting your application, always check to make sure you are not missing any required documents. In particular, many students forget to submit past academic transcripts.

-Contact the staff in charge of scholarships in your department and inform them if you apply directly (without going through the university) for a scholarship or to extend a scholarship.